

令和8年7月17日

北九州市教育委員会

報道機関各位

防災・減災教育推進モデル校の児童生徒による被災地学習「結団式」を開催

東日本大震災の発生から15年を迎え、震災の記憶の風化が懸念されています。こうした中、児童生徒が被災地を訪れ、被災の実情や復興の歩みを自ら学ぶことは、防災・減災への意識を高め、次世代へ教訓を継承する上で大変意義のある取組です。

北九州市教育委員会では、本市における防災・減災教育を牽引する次世代のリーダーを育成するため、推進モデル校の児童生徒による東日本大震災被災地（岩手県・宮城県）への視察（2泊3日）を実施いたします。被災地視察はこれまでも実施してきましたが、東北地方への訪問、および出発に先駆けた「結団式」の開催は今回が初めてとなります。

結団式では、参加する4校の小中が一堂に会し、視察に向けて意識と使命感を高めます。ぜひ、取材方よろしく願いいたします。

記

1 日 時 令和8年7月21日（火） 13:20 ～ 14:00

2 場 所 小倉北区役所 5階 504会議室

3 結団式（13:45～14:00）

- ・開会の言葉
- ・参加児童生徒代表者による宣誓
- ・教育長激励の言葉
- ・記念撮影
- ・閉会の言葉

※結団式開始前に、受付・オリエンテーションを実施（13:20～）

※結団式終了後、講師の村江史年氏による講話を実施（20分程度）

◆テーマ：「被災地学習の意義、訪問先の見るべきポイント」

4 出席者

推進モデル校の児童生徒16名（各校4名ずつ）

（藤木小学校、筒井小学校、門司中学校、横代中学校）

5 視察の概要

別紙のとおり

6 その他

- ・ 結団式、村江史年氏による講話ともに、撮影可能です。
- ・ 取材にあたっては、担当者の指示に従ってください。

【問い合わせ先】

北九州市教育委員会生徒指導課

TEL: 093-582-2369

担当 末包（課長）、松本（係長）